

新基地建設反対名護共同センターニュース

“美しい映像で沖縄の理不尽さ表現されている”
 “学校などでも上映できるといいですね”

ドキュメンタリー映画 (DVD)
 「いのちの海 辺野古 大浦湾」
 頒価2000円 (上映権付)
 お申し込みは、新基地建設反対名
 護共同センターへ (上欄を参照)



辺野古市民プラザでの試写会の様子



挨拶する
 謝名元慶福監督

大ヒットした前作「いのちの森 高江」につづく謝名元慶福監督の「いのちの海 辺野古 大浦湾」の試写会が13日と16日に地元名護市で開催され、3会場で130人が参加しました。名護市中央図書館ホールでの試写会では約20人から感想が寄せられ、DVDを求める人が相次ぎました。各会場で謝名元監督が「皆さんに辺野古の新基地問題についてじっくり考えていただき、行動に移してほしいと思います、美しく静かな映像にまとめました。多くの人に見ていただきたい」とあいさつしました。

ドキュメンタリー映画「いのちの海 辺野古 大浦湾」
 地元名護市の試写会で大好評!

寄せられた感想から

- 映像が美しく、私たちが守るべきもの、沖縄を巡る理不尽さがよく表現されていると思つた。名護だけでなく県内外の多くの人に見てほしい。
 - 真実の語り 本来の自然心のふるさとを忘れてはいけない。
 - 学校など教育現場で上映できるといいですね。この沖縄の現状を子どもたちにも知ってほしいです。
 - 大浦の海の素晴らしさを初めて知りました。基地の島にしてはいけない、とつくづく思いました。
 - 静かに訴えていて、見た人が深く考えずにはいられない映画だった。
 - 日本の官僚がアメリカ言いなりのため、鳩山元首相が「裏切りもの」呼ばわりされ、かわいそうで涙が出ました。
- 会場では試写会の上映を担った豊島晃司さんは「今後、名護市内各区で上映会を開催したい」と話しています。

毎月第1土曜はゲート前「座り込み」&県民集会



ゲート前では、連日多くの座り込み参加者が、ごぼう抜きされ困われても毅然と非暴力で抗議活動を続けています。

10月10日は裁判所前で支援大集会 —オール沖縄会議が確認—

「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議・大会集会部」は20日の会議で、当面の集会について次の2点を確認しました。

- 1、辺野古新基地建設差し止め訴訟支援集会を開催する。
 - ① 第1回口頭弁論日 (衆院選公示日となる公算が大)
 日時 10月10日(火)14:00~15:00
 場所 城岳公園 参加目標 2000人
 - ② 第2回口頭弁論の11月14日(火)も開催する
- 2、辺野古新基地建設を阻止するため、毎月第1土曜日行動をキャンプ・シュワブ前で展開する。第1回目は10月7日。
 座り込み ①8:30~13:00 ②12:00~16:00
 (①②とも200~400人規模) 県民集会(12:00~13:00)

島根革新懇と「沖縄と連帯する島根の会」が共同センター訪問

島根革新懇と「沖縄と連帯する島根の会」の14人の皆さんが9月12~13日、名護共同センターを訪問。パワーポイントで沖縄のたまたかの歴史や現状、展望を学習しました。

13日はキャンプ・シュワブ前の座り込みに参加し、支援連帯を深めました。

共同センターとウマンチュ号へのカンパも
 島根革新懇と「島根の会」の代表・中林佳子さん(元衆院議員)から



共同センターや新監視船・ウマンチュ号へカンパが寄せられました。



中林佳子代表からウマンチュ号へのカンパを受けとる仲本興真船長(右端)